

福岡県社会教育委員の会議による提言

持続可能な地域づくりを推進するための社会教育行政の在り方

- 「鍛ほめ福岡メソッド」の視点を取り入れた
地域学校協働活動（福岡モデル）の推進
- 本県社会教育施設（青少年教育施設）の改善の方向性

福岡県社会教育委員の会議

令和元年 7 月

目次

巻頭言

I	はじめに	1
II	地域と学校が連携・協働した教育の推進	2
1	近年の国の動向	2
2	本県の現状と課題	3
	(1) 子どもについて	
	(2) 家庭について	
	(3) 地域について	
	(4) 学校について	
	(5) 課題の整理	
3	地域と学校の連携・協働による課題解決の方向性	9
	(1) 「鍛ほめ福岡メソッド」を基底に据える	
	① 「鍛ほめ福岡メソッド」の背景	
	② 「鍛ほめ福岡メソッド」とは	
	③ 課題と方向性	
	(2) 地域学校協働活動を全県的に推進する	
	① 地域学校協働活動とは	
	② 地域学校協働活動の効果	
	(3) 「鍛ほめ福岡メソッド」の視点を取り入れた地域学校協働活動（福岡モデル）を推進する	
	① 「福岡モデル」について	
	② 「福岡モデル」を推進するための方策	
	(4) その他の事業	
	① 通学合宿等の体験活動	
	② 子どもの読書活動推進に関する事業	
III	本県社会教育施設（青少年教育施設）の改善の方向性	22
1	国・都道府県の動向	22
	(1) トップランナー方式	
	(2) 「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」	
2	本県社会教育施設（青少年教育施設）設置状況及び課題	23
3	今後の本県社会教育施設（青少年教育施設）の改善の方向性と留意点	23
	(1) 平成25年3月社会教育委員の会議（審議のまとめ）より	
	(2) 青少年教育施設に求められる役割	
	(3) 施設整備と管理運営方式について	
	(4) 事業の充実について	
	(5) 人材育成について	
	【参考資料】	29
	○ 地域学校協働活動等の事例	
	○ 福岡県社会教育委員の会議・審議テーマ	
	○ 審議内容・審議経過	
	○ 福岡県社会教育委員名簿	

巻 頭 言

近年、少子高齢化と人口減少など、社会教育を取り巻く環境の変化を受けて、社会教育における学習成果を地域課題の解決に生かし、「地域づくり」の実践につなげていくことが求められています。

このような中、平成30年12月に、中央教育審議会において「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について（答申）」がまとめられました。その中で、地域における社会教育の意義と果たすべき役割を「社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくり」とし、今後の社会教育には、住民相互のつながりを提供する場として新たな展開を図ることが求められ、行政に対しても、そのための環境の整備にこれまで以上に取り組む必要があることを指摘しています。

福岡県においては、平成27年度に「福岡県学校教育振興プラン」を策定し、その中で、教育に関わる全ての指導者が共有する本県独自の指導方法として「鍛ほめ福岡メソッド」を位置づけ、子どもが自立的に成長するための原動力となる人格的資質の育成に取り組んでいます。また、平成29年度からは「地域学校協働活動事業」に取り組み、地域人材の協力を得て、学校支援、学習支援・体験活動を実施することで、子どもたちの学力の向上や豊かな人間性を涵養するとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域ぐるみで子どもを育てる体制づくりにも取り組んでいます。

これらの現状を踏まえ、福岡県社会教育委員の会議では、地域課題を解決する人材の育成や多様な団体・施設と連携し、学校を含めた地域全体で子どもを育て、地域づくり・絆づくりを行っていく必要があると考え、本県の子どもたちを取り巻く教育環境における現状と課題を明らかにするとともに、本県社会教育行政におけるその方策を審議することとし、審議テーマを「持続可能な地域づくりを推進するための社会教育行政の在り方」と設定しました。

さらに、既存の各種資料等を参考に、子ども、家庭、学校、地域における現状と課題を明らかにしつつ、地域学校協働活動に取り組む地域等を視察し現地調査を行い、鍛ほめ福岡メソッドの視点を取り入れた地域学校協働活動（福岡モデル）の推進と合わせ、本県社会教育施設（青少年教育施設）の改善の方向性について論点を絞り、審議してまいりました。

審議の中で、「鍛ほめは、これまで社会教育の中でずっと取り組まれてきたもの。」という意見があったように、今期の会議は、福岡県の社会教育がこれまで培ってきたものを再確認し、地域づくりにつなげていくことが根底にあると考えています。これまでの蓄積（財産）をベースとしながら、福岡県の社会教育をより多くの人々に推進していただくことができるよう、また、そのきっかけとなるよう審議し、その結果をまとめてまいりました。

県内各地で教育の振興に向け御尽力いただいている皆様に、ぜひ御一読いただき、本県がめざす今後の社会教育行政の在り方について共通認識をもって、更なる取組の充実、推進に御協力いただければと思っております。

終わりに、今期は全8回の会議を行いました。また、視察研究として、小郡市、糸島市、飯塚市、筑前町（訪問順）に訪問させていただき、それぞれの学校と地域が連携・協働した実践について学ぶことができました。多くの御意見をいただいた各委員の皆様をはじめ、視察の際に御対応いただいた関係市町教育委員会生涯学習・社会教育所管課の皆様に対しまして、この場を借りて感謝申し上げます。

令和元年7月

福岡県社会教育委員の会議

議長 大島 まな